

2010・2011●図書館展示 12-1 月

宮沢賢治の世界

—《朗読の楽しみ 第1回》関連資料、
自作歌曲資料を中心に—



宮
沢
賢
治

企画●国立音楽大学附属図書館広報委員会

期間●2010年12月13日～2011年1月28日
場所●図書館ブラウジングルーム・AV資料室

宮沢賢治の世界

〈朗読の楽しみ 第1回〉関連資料、自作歌曲資料を中心に

去る2010年11月25日、宮沢賢治の童話『よだかの星』と『雪渡り』を題材とした《朗読の楽しみ 第1回》を開催しました。それに伴い、ブラウジングルームで宮沢賢治の展示を行っていましたが、一部の資料の入れ替えを行い、引き続き展示を行います。また、AV資料室では、賢治が作詞や作曲を行った作品を収録している資料等をご紹介します。

Contents

宮沢賢治	2
『よだかの星』と『雪渡り』 《朗読の楽しみ 第1回》より	2
賢治と音楽	3
展示資料	5

企画 国立音楽大学附属図書館広報委員会

宮沢賢治

詩人、童話作家、農芸科学者、農村指導者、宗教思想家

1896(明治29)年8月27日、岩手県稗貫郡花巻町(現花巻市)に生まれ、浄土真宗の濃密な信仰の中で育った。幼少時から鉱物採集に熱中し、「石コ賢さん」と呼ばれていた。

盛岡中学2年生の頃から短歌を作るようになり、次第に宗教書や哲学書を読みふけるようになった。1914年、盛岡中学を卒業した。この年、島地大等編『漢和対照 妙法蓮華経』を読んで感激し、熱烈な法華信者になった。

翌年、盛岡高等農林学校に入学し、勉学や短歌の制作に励んだ。1918年、論文『腐植質中ノ無機成分ノ植物ニ対スル価値』を提出して卒業した。1920年、田中智学が主催する国柱会に入会し、父にも日蓮宗への改宗を迫ったが受け入れられなかった。翌年には無断で上京し、布教活動や童話制作を行ったが、妹の病気をきっかけに帰郷した。

1921年12月から約4年間、花巻農学校にて教鞭を執った。この頃、口語詩を制作するようになり、詩集『春と修羅』や童話集『注文の多い料理店』を出版した。花巻農学校を退職後、農村の若者たちに農学や農民芸術論を論じたが、治安当局に目をつけられてしまった。さらに、自身の病気のために活動は頓挫した。1931年ごろ、一時的に病状が回復し、碎石工場の技師となったが再び病状が悪化し、1933(昭和8)年9月21日に死去した。

『よだかの星』と『雪渡り』 《朗読の楽しみ 第1回》より

(朗読の楽しみ)は、図書館委員会の企画により今年から始まった当館主催の朗読会で、今後も年1回の開催を予定しています。

ここでは、第1回の題材となった『よだかの星』と『雪渡り』についてご紹介します。

《朗読の楽しみ》第1回
宮沢賢治『よだかの星』、『雪渡り』

朗唱：たや^{よしこ}仁子(言語造型家)

日時：2010年11月25日(木) 17:15~19:15

場所：自由閲覧室

(企画：図書館委員会、進行：末松淑美)

当館ホームページに実施報告を掲載しています。

<http://www.lib.kunitachi.ac.jp/tenji/tenji.htm>

『よだかの星』

生前未発表の童話。作品「小岩井農場」と同一の日付(1922年5月21日)がある。賢治の死の翌年1934年に発表された。

あらすじ

「よだかは実に醜い鳥です。顔はところどころ味噌をつけたようにまだらで、くちばしは、ひらたくて、耳までさけています。」

よだかは、はちすずめやかわけみの兄ですが、その醜さのため鳥の仲間のつらよごしだ^{つらよごしだ}と他の鳥たちから馬鹿にされます。鷹からは「よだか」と鷹の名前がまぎらわしいと、名前をかえるよう因縁をつけられます。

仲間からさげすまれ、鷹からも脅かされてあまりにつらくなった「よだか」は遠くの空の向こうに行ってしまうと太陽に頼みますが、夜の鳥だから星にたのむよう言われます。星にたのむと星からはその願いを思い上がりだと馬鹿にされます。それでも空をのぼっていき、とうとう息絶えます。しばらくすると「よだか」は自分の体が燐のように青い光をはなっているのに気がつきます。そして「よだかの星」は燃え続け、今でも燃え続けていると語られています。

『雪渡り』

1921・1922年(大正10.11)に雑誌「愛国婦人」に掲載された創作童話で、デビュー作である。草稿が残っていないが、賢治が雑誌の掲載部分の余白や行間を使用して推敲した「発表後手入形」が存在する。

「手入れ」は筆記具の分類から3回にわたっていると考えられる。「雑誌発表形」と「発表後手入形」では、あらすじ等に大きな違いはないが、「発表後手入形」のほうが表現に優れているという指摘が多い。

あらすじ

雪がすっかり凍って、いつもは歩けない畑や野原の上をどこまでも歩いていける冬のある日、四郎とかん子の兄妹は雪渡りの歌をうたいながら森の近くまで来ると、子狐紺三郎と出会います。2人は「狐は人をだますから」と警戒しますが、遊んでいるうちに仲良くなります。

次の雪の凍った月夜の晩に、兄妹は狐小学校の幻燈会(映写会)に招待されます。幻燈会ではお酒を飲んで酔った人間のおじいさんや若い男の人が、野原でおかしなものを食べている写真を見せられます。その後で、狐小学校の生徒が作った団子を2人は勇気を出して食べます。狐たちは2人が狐を信じてくれたと大喜びして「狐は決して嘘は言わない」と躍り上がって歌いだします。

兄妹は狐小学校の狐達と心を通い合わせて森から家に帰りました。

賢治と音楽

.....

宮沢賢治は西洋のクラシック音楽、とりわけベートーヴェンの曲を愛し、音楽に対しても深い関心があったことが知られています。

また、音楽を聴くだけでなく、数こそ少ないものの、歌曲の作詞・作曲も行っています。

その中から、当館が録音資料、楽譜などを所蔵している曲を幾つかご紹介します。

「星めぐりの歌」

賢治が作詞・作曲している中で、最も知られている曲。童話「双子の星」の2人の童子が星たちが歌う星めぐりの歌に合わせて、一晩中銀笛を吹いている。また、「銀河鉄道の夜」の作品中でも歌われたり、口笛で吹かれている。賢治の教え子、沢里武治によると、花巻農学校の学生だった時(1925年夏頃)、宿直をしていた賢治から呼び出され、賢治の歌に合わせてペビーオルガンの探り弾きをしたとのこと。その時、賢治は「星めぐりの歌」も歌っている。

録音資料:XD29566, XD34762

楽譜:F25-440(林光編曲による混声合唱版) など

「月夜のでんしんばしら」

この歌は、<いかにも昔ふうの立派な軍歌>として、同名の童話の中で7回も歌われている。採譜は阿部孝(元花巻湯口中学校教諭)による。

録音資料:XD34109, XD64940-64941

楽譜:F20-747(青島広志編曲) など

「牧歌」

1924(大正 13)年、農学校で上演した劇「種山ヶ原の夜」の中で歌われた。
旋律が三音だけで構成された、幻想的な雰囲気を持つ曲。

録音資料:XD43921-43922

楽譜:F4-887(千葉了道編曲による無伴奏四部合唱版) など

「大菩薩峠の歌」

初出は『宮沢賢治全集抜萃・鏡をつるし』(宮沢清六編、1933(昭和 8)年発行)だが、この時の題名は「大菩薩峠を読みて」である。1967(昭和 42)年版全集(筑摩書房)以降は「大菩薩峠の歌」となっている。題名の「大菩薩峠」は、中里介山の小説「大菩薩峠」のことである。この歌は、賢治が花巻町相生町の藤原嘉藤治宅を訪れた際に歌ったものを藤原が採譜したものとされている。

録音資料:XD34109

楽譜:F20-747(青島広志編曲)

「北空のちぢれ羊から」

初出は『宮沢賢治全集』第 11 巻(筑摩書房、1957(昭和 32)年)。口唱は賢治の実弟の宮沢清六で、採譜は阿部孝が行った。

録音資料:XD34109

楽譜:F20-747(青島広志編曲)

「イギリス海岸の歌」

初出は『宮沢賢治全集抜萃・鏡をつるし』(宮沢清六編、1933(昭和 8)年発行)。賢治が作曲し、藤原嘉藤治が採譜した。

「イギリス海岸」という名称は、イギリスのドーヴァー海峡にある白亜の海岸と、北上川畔の新生代(およそ 6,500 万-164 万年前)の泥岩層との類推から賢治が命名したもの。花巻農学校から 1 キロほど離れたところに実習農場があり、賢治は生徒を引率して指導した。実習が終わると、農具を持ったまま北上川に泳ぎに行った。この北上川西岸を賢治は「イギリス海岸」と呼んで愛した。

録音資料:XD34762

楽譜:F20-747(青島広志編曲)

「剣舞の歌」

初出は『宮沢賢治全集抜萃・鏡をつるし』(宮沢清六編、1933(昭和 8)年発行)。1917(大正 6)年、賢治は江刺郡の地質調査に出かけた。そこで、種山ヶ原近辺の伊手村と田原村原体の剣舞に出会った。賢治はこの郷土芸能のメロディを自己流に口ずさんでいた。

録音資料:XD34109

楽譜:F20-747(青島広志編曲)

< 参考資料 >

- ・佐藤泰平著『宮沢賢治の音楽』筑摩書房、1995(請求記号 C59-723)
- ・渡部芳紀編『宮沢賢治大事典』勉誠出版、2007(請求記号 R910.268/M)
- ・『日本大百科全書 第 22 巻』小学館、1988(請求記号 R031/ND/22)
- ・『世界大百科事典 改訂版 第 27 巻』平凡社、2005(請求記号 R031/S/27)

展示資料

.....

< パネル >

署名入りの献呈写真

大正 15 年春頃（推定）、旧稗貫農学校の実習農場にて撮影。

出典：宮沢清六（ほか）編纂『< 新 > 校本宮沢賢治全集 第 14 巻』筑摩書房，1997（請求記号 J85-359）

明治 35 年小正月の写真

賢治 5 歳、妹トシ 3 歳。

出典：宮沢清六他編『< 新 > 校本宮沢賢治全集 第 16 巻下』筑摩書房，2001（請求記号 J101-714）

花巻農学校正門

稗貫群立農蚕講習所、稗貫農学校、花巻農学校へと発展する転換期に、賢治は約 4 年間に在職し、教師を務めた。

出典：宮沢清六他編『< 新 > 校本宮沢賢治全集 第 16 巻下』筑摩書房，2001（請求記号 J101-714）

賢治の名刺

出典：宮沢清六（ほか）編纂『< 新 > 校本宮沢賢治全集 第 14 巻』筑摩書房，1997（請求記号 J85-359）

岩手山（七つ森より）

岩手山は盛岡の北西にある山、七つ森は雫石町東部にある小山群。ともに数多くの作品の舞台となっている。

出典：渡部芳紀編『宮沢賢治大事典』勉誠出版，2007（請求記号 R910.268/M）

賢治設計の花壇

岩手県花巻市にある宮沢賢治記念館の南に復元されたもの。

出典：渡部芳紀編『宮沢賢治大事典』勉誠出版，2007（請求記号 R910.268/M）

「銀河鉄道の夜」の草稿

出典：宮沢清六（ほか）編纂『< 新 > 校本宮沢賢治全集 第 10 巻』筑摩書房，1995（請求記号 J83-505）

自筆楽譜

「"ĪHATOV" FARMERS' SONG」（「ポラーノ広場のうた」）

出典：宮沢清六（ほか）編纂『< 新 > 校本宮沢賢治全集 第 6 巻』筑摩書房，1996（請求記号 J83-293）

「日輪と山」

宮沢賢治画。原寸は 14.2cm × 18.5cm。

出典：宮沢清六（ほか）編纂『< 新 > 校本宮沢賢治全集 第 14 巻』筑摩書房，1997（請求記号 J85-359）

「月夜のでんしんばしら」の下絵

宮沢賢治画。原寸は 19.4cm × 14.8cm。

出典：宮沢清六（ほか）編纂『< 新 > 校本宮沢賢治全集 第 14 巻』筑摩書房，1997（請求記号 J85-359）

< 図書 >

渡部芳紀編『宮沢賢治大事典』

勉誠出版，2007 請求記号 R910.268/M

主要な作品や、賢治と関わりのあった人物・事柄について解説されている。

宮沢清六〔ほか〕編纂 『<新>校本宮沢賢治全集第1巻～第16巻』
筑摩書房, 1995 請求記号 J83-290/293 J83-501/506 J83-582/583 J83-751 J85-358/359 J101-712/714

宮沢賢治著; 小穴隆一画 『風の又三郎』
ほるぷ出版, 1971 請求記号 J36-281
「名著復刻日本児童文学館」の1冊として、昭和14年に羽田書店から刊行されたものを、当時の装丁のまま再刊した。

宮沢賢治著 『グスコー・ブドリの伝記』
ほるぷ出版, 1974 請求記号 J35-937
「名著復刻日本児童文学館 第二集」の1冊として、昭和16年に羽田書店から刊行されたものを当時の装丁のまま再刊した。

宮沢賢治〔作〕; 富田博之編 『セロ弾きのゴーシュ; 宮沢賢治童話劇集2』
東京書籍, 1981 請求記号 J83-294

written by Kenji Miyazawa ; illustrated by Kunio Sato ; translated by Richard McNamara, Peter Howlett "The restaurant of many orders"
Dublin : R.I.C. Publications, 2004 請求記号 RI00010
『注文の多い料理店』の英語版。

宮沢賢治原作 『長岡輝子、宮沢賢治を読む。第5巻 雪渡り』
草思社, 1991 請求記号 C58-464

宮沢賢治原作 『長岡輝子、宮沢賢治を読む。第8巻 よだかの星』
草思社, 1991 請求記号 C58-467
今年10月に102歳で亡くなった女優の長岡輝子は、同郷の宮沢賢治を深く愛し、晩年まで朗読を続けていた。

清水正, 峰村澄子, 山下聖美著 『ケンジ童話の授業; 「雪渡り」研究』
D文学研究会, 2005 請求記号 J104-986
『雪渡り』に関する共同研究と授業の成果。

宮澤賢治著; 林光編曲・指揮; 吉増剛造朗読 『賢治の音楽室』
小学館, 2000 請求記号 C65-119
賢治作詞作曲作品と、詩と童話の朗読。

佐藤泰平著 『宮沢賢治の音楽』
筑摩書房, 1995 請求記号 C59-723
賢治が作詞作曲した歌について詳しく解説している。

西崎専一著 『ジヨバンニの耳; 宮沢賢治の音楽世界』
風媒社, 2008 請求記号 J112-919
作品に対し音楽学的アプローチをしている。

多田幸正著 『宮沢賢治とベートーヴェン; 病と恋』
洋々社, 2008 請求記号 J114-479
ベートーヴェンと感動的な出会いをした賢治とベートーヴェンとの共通項をさぐる。

<楽譜>

宮沢賢治作詩；團伊玖磨作曲『混声合唱と打楽器とピアノのための原體剣舞連』
カワイ出版, 1986 請求記号 E13-478

藤井喬梓作曲

『イーハトーブからの手紙；宮澤賢治の童話にもとづく子どものためのピアノ曲集』
音楽之友社, 1996-1997 請求記号 G26-360

宮沢賢治作詩；鈴木輝昭作曲『童声（女声）合唱とピアノのためのイーハトーブ組曲』
カワイ出版, 2003 請求記号 F23-518

宮沢賢治原作；清水脩台本・作曲『セロ弾きのゴーシュ；歌劇；全三景』
プリランテ・ヴォーチェ, 2007 請求記号 F25-211

宗像和作曲『セロ弾きのゴーシュ；無伴奏チェロ組曲』
日本作曲家協議会, 2005 請求記号 H42-369

宮澤賢治作詩；鈴木憲夫作曲『雨二モマケズ；混声合唱曲』
カワイ出版, 1997 請求記号 F21-026

宮沢賢治原作；河内紀脚色・台本；青島広志作曲『雪渡り；音楽劇』
音楽之友社, 1997 請求記号 F20-370

『星めぐりの歌』

音楽之友社, 2005 請求記号 F24-063

林光『岩手軽便鉄道の一月；宮沢賢治の詩によるソング・アルバム』
全音楽譜出版社, 2008 請求記号 F25-440

『ポランの広場；宮沢賢治歌曲集』

ショパン, 1997 請求記号 F20-747

千葉了道編作曲『合唱曲集』

音楽之友社, 1963 請求記号 F4-887

<AV資料>

星めぐりの歌；宮沢賢治 メンタル サウンド スケッチ
[東京]:Sony Records, 1993 請求記号 XD34109

宮沢賢治の世界

長岡輝子, 朗読

Tokyo: King Records, 2006 請求記号 XD64940

宮沢賢治と林光と谷川俊太郎と賢治の学校

東京:賢治の学校, [1999?] 請求記号 XD43921-43922

宮澤賢治・星めぐりの歌

竹田恵子(ソプラノ)ほか

Tokyo: ALM Records, p1994 請求記号 XD29566

星めぐりの歌；宮沢賢治歌曲集

[宮城]：Itoon,[1996] 請求記号 XD34762

賢治の幻燈

[Tokyo]：NTT Publishing, 1995 請求記号 XD34810

Kenji

加古隆（ピアノ）

[東京]：CBS・ソニー, 1988 請求記号 XD5923

ゼロ弾きのゴーシュ；オペラ

林光台本・作曲；宮沢賢治原作

[Tokyo]：ALM Records, p2003 請求記号 XD51887

そらのめぐりのめあて：宮沢賢治の童話にもとづく藤井喬梓作品集

[Tokyo]：Kassiopeia Records, [1996?] 請求記号 XD35237

よだかの星；萩京子作品集

Tokyo：ALM Records, p1996 請求記号 XD40249

銀河鉄道の夜

宮沢賢治原案；ますむら・ひろし監督

[東京]：発行：朝日新聞社；販売：アスミック,[2002] 請求記号 VE403

ゼロ弾きのゴーシュ

宮沢賢治原案；高畑勲監督

[東京]キングレコード, c1990 請求記号 VD3589

展示パンフレットは図書館ホームページからも入手できます。(バックナンバーも公開しています。)

<http://www.lib.kunitachi.ac.jp/tenji/tenji.htm>

2010/12/16 編集 国立音楽大学附属図書館広報委員会：二塚恵里・撰正弘